標的型攻撃対策アプライアンスを提供するウォッチガードと総合ITサービスプロバイダのベル・データが協業、ゲートウェイでのセキュリティ対策 「ベル・データ エントランス セキュリティサービス」を提供開始

2015年9月24日（木）

ー企業向け統合型セキュリティアプライアンスのグローバルリーダであるWatchGuard（R）Technologiesの日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長執行役員 根岸
正人、以下ウォッチガード）とベル・データ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 小野寺
洋、以下ベル・データ）は、今回ネットワークセキュリティの分野で両社が提携し、新たに「ベル・データ エントランス
セキュリティサービス」（以下BESS）を提供開始すると発表しました。

BESSは主に中堅規模企業／組織を対象に、ウォッチガードのUTM（統合脅威管理）／NGFW（次世代ファイアウォール）を活用したネットワークゲートウェイでのセキュリティソリューションサービスとしてベル・データより販売されます。

【背景】
ここ数年、マルウェア等によるサイバー攻撃の複雑化・多様化が顕著になってきており、国内でも著名な企業や団体が実害を被るケースが増加しています。こうした状況を考慮し、大手企業では一定の対策が進んでいますが、中小／中堅企業の場合では、導入・運用コストや人材不足の課題により情報セキュリティ対策が後回しにされています。そのような背景から、攻撃者は大規模組織への直接的な侵入よりも、セキュリティ対策が遅れていると考えられる系列会社あるいは取引先の中小／中堅企業を踏み台として攻撃する事例が増えています。

ベル・データではこれまで「One Stop
Service」として、IT関連機器・ソリューションの提供、インフラ構築サービス、運用サービス、データセンターサービス、およびレンタルサービスなど広範なIT関連事業を展開してきましたが、昨今のサイバー攻撃リスクの高まりを鑑み、現在のサービス群に加えてお客様に新たな付加価値を提供していく上で、ネットワークセキュリティ分野のさらなる充実・強化の必要性を感じていました。そこで入口／出口対策ソリューションの一環として、ウォッチガードの標的型攻撃対策などに豊富な実績を持つベストオブブリードのUTM（統合脅威管理）／NGFW（次世代ファイアウ

ォール）アプライアンス（WatchGuard Firebox
series）をサービスのコアとなる商材として選定し、新たにBESSが開発されました。

「ベル・データ エントランス セキュリティサービス」（BESS）

【特長】
1）高機能セキュリティと運用支援の融合サービス
ベル・データの20年以上にわたる24 時間365
日の運用・監視のノウハウテクノロジと、ウォッチガードのベストオブブリードのUTM（統合脅威管理）／NGFW（次世代ファイアウォール）アプライアンス製品を融合し、日々の運用やハードウェア保守を含めたソリューションになっています。

2）高いスループットを実現
アンチウイルス、迷惑メール対策、Web
フィルタリング、IPS（不正侵入検知・防御）、アプリケーション制御など、全てのセキュリティ機能を有効にした場合でも高いスループットを維持し、ネットワークのボトルネックとなることを回避します。

3）WatchGuard Dimension（セキュリティの可視化）
ウォッチガードが提供するリアルタイムネットワーク可視化ツール「WatchGuard
Dimension」により、膨大なネットワークセキュリティデータを可視化し、問題の特定やセキュリティポリシーの改善に大きく役立ち、本機能を利用したログ収集およびレポート提出サービスを提供します（オプション）。

【サービス内容】
（セキュリティサービス）
・お客様のインターネット出入口に専用機（WatchGuard
Fireboxアプライアンス）を設置し、外部からのサイバー攻撃を防ぎます。（アンチウイルス、迷惑メール対策、Web
フィルタリング、不正侵入検知・防御、アプリケーション制御、レピュテーションセキュリティの各種機能がご利用いただけます。）

（運用支援サービス）
・シグネチャ更新、Webフィルタリングルールの追加と削除、アプリケーション許可／禁止等
・専用機の障害時における24時間365日ハードウェア保守

（各種オプション）
・ログ収集／レポート、拠点間VPN構築、リモートユーザVPN、冗長構成（HA）、インターネット回線、プロバイダ

【販売開始日】
2015年9月24日（木）

【販売元】
ベル・データ株式会社

【価格】
月額32,000円（税別）より

*別途初期費用100,000円（税別）～がかかります。

（ベル・データ株式会社 代表取締役社長 小野寺 洋）
「ベル・データは、IBMのPower Systems AS/400
の国内導入実績においてトップレベルのシェアを持っていますが、ご利用のお客様のほとんどがまさにサイバー攻撃の危機に晒されている中堅規模企業にあたります。しかしながら、この規模でのネットワークセキュリティ市場は発展途上であり、私たちITサービスプロバイダは、今後ネットワークセキュリティ対策の重要性を説く啓蒙活動をさらに推進し、マーケットを創造・拡大していく義務があると感じています。ネットワークセキュリティ分野のプロフェッショナルであるウォッチガードとの提携により、お客様にさらなる付加価値をご提供できるものと確信しています。」

（ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 社長執行役員 根岸 正人）
「ネットワークセキュリティ対策は、企業にとってまったく利益に繋がらない分野であり、保険と同様にいかにリスクを低減するかにその価値が見出せるものです。つまり被害が発生した場合にしかその導入ROIが算出できず、中堅規模企業にとってネットワークセキュリティサービスは低コスト、高機能、しかも人的リソースを極力割かなくてもよいことが必須条件となります。『ベル・データ エントランス
セキュリティサービス』はまさにこうしたニーズを満たすサービスとなっていますので、是非皆様にご検討いただければと思います。」

【ベル・データ株式会社について】
ベル・データ株式会社は1991年7月 に設立され、IBMのメインフレームPower
System（AS/400）をはじめとした機器・ソリューションの提供、インフラ構築サービス、運用サービス、データセンターサービス、およびレンタルサービスなどの広範な事業を展開しています。また、テクニカルセンターや運用監視センターも開設し、24時間365日の運用・監視業務の経験とノウハウを蓄積しています。

【WatchGuard Technologiesについて】
WatchGuard（R）
Technologiesは、業界標準ハードウェア、ベストオブブリードセキュリティ、ポリシーベースの管理ツールを独自アーキテクチャにより統合したビジネスセキュリティソリューションを提供するグローバルリーダとして、全世界の企業にセキュリティソリューションを提供しています。ウォッチガード製品は、複数のセキュリティサービス、シングルコンソールによる導入と管理、インテリジェントに統一された脅威管理を統合し、すべての規模の企業に安全なビジネスの継続を支援しています。本社を米国ワシントン州シアトルに置き、北米、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカに支社を展開しています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多くのパートナーを通じて、アプライアンス製品、セキュリティの「可視化」、セキュリティとネットワークの「管理」など拡大するニーズへのソリューションを提供しています。詳細は http://www.watchguard.co.jp をご覧下さい。

WatchGuardは、WatchGuard Technologies,
Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

*本プレスリリースと同内容のプレスリリースが、ベル・データ株式会社より配信される場合があることを予めご了承ください。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒106-0041
東京都港区麻布台1-11-9
CR神谷町ビル5階
マーケティング担当：堀江
Tel： 03-5797-7205
Fax： 03-5797-7207
Email： jpnsales@watchguard.com
URL： http://www.watchguard.co.jp

ベル・データ株式会社
〒163-0449
東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル49F
担当：大出
Email： takashi.ode@belldata.co.jp
URL： http://www.belldata.com

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com